

第 169 回浜田市教育委員会定例会議事録

日 時：令和元年 6 月 28 日（金） 13：30～15：05

場 所：浜田市役所北分庁舎 2 階会議室 1

出席者：石本教育長 藤本委員 宇津委員 金本委員 花田委員

事務局 河上部長 湯浅課長（兼室長） 市原課長 牛尾室長

村木課長 外浦課長 平岡室長 原田分室長

佐々尾分室長 三浦分室長 小松分室長（欠席）

書記：日ノ原係長 木谷主事

議事

1 教育長報告

2 議題

- (1) 令和元年度全国学力・学習状況調査結果の公表について（資料 1）
- (2) 公民館職員（主事）の選任について（資料 2）
- (3) 浜田市社会教育委員の委嘱について（資料 3）
- (4) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について（資料 4）

3 部長・課長等報告事項

4 その他

- (1) その他

1 教育長報告

石本教育長

梅雨に入った途端に蒸し暑い日が続いたが、私も段々と疲れがたまってきたと感じている。委員方も健康管理に気をつけていただいて、暑い日を過ごしていただきたいと思う。今まで雨があまり降っておらず、7 月にまとめて降ればまた大変であると心配をしているところである。学校の子どもたちの安全確保については、また 7 月初めに校長会があるため、しっかりと指導していきたいと思っている。

それでは資料に基づき、この 1 か月間を振り返る。

- ① 5 月 28 日（火）168 回浜田市教育委員会定例会（2 階会議室）
- ② 5 月 28 日（火）～6 月 6 日（木）令和元年度浜田市中学校総合体育大会（県立体育館他）

中学校の市総体が始まった。28 日は体操、29 日は水泳、30 日は陸上ということで、この週に 3 種目行われた。1 番集中しているのは、6 月 5 日に柔道、5 日、6 日で卓球、バレーボー

ル、バスケットボール、野球、ソフトテニス、6日にサッカーが行われ、6月6日に市総体が終了している。今回は色々な会議等の関係で、私が見に行くことが出来たのは陸上だけであった。例年半分以上見に行っているが、今年は残念であったと思っている。

- ③ 5月30日(木) 益田市出身プロレスラー・日高郁人選手、江津市出身プロレスラー・岩崎永遠選手市長表敬(市長応接室)

2名が市長表敬に来られた。6月1日の土曜日に浜田市でプロレスの大会があり、その前段として実は市長表敬に来られた前日の29日に、金城中学校でキャリア教育の一貫として日高選手と岩崎選手に出前授業を行っていただいた。このプロレスは毎年秋に松江市と益田市で行われていたが、今回この時期に広島で開催され、1日前に浜田で行いたいということで開催された。できれば来年度以降もこの時期に浜田で開催したいといった話もあった。

プロレスの収益の一部を金城中学校へ寄附していただき、寄附金で本を買ったと聞いている。

また、第三中学校出身の女子プロレスラーの青木いつ希選手も来られていた。デビューして2年目、3年目の若い選手で今年22歳になれる。専門学校に通いながらプロレスを始められたということであり、彼女もこの大会に参加をしていた。元気に試合に臨んでいたが、相手が強かったため、試合には負けてしまったが、これからの活躍に期待をしたいと思っている。そういったことで、この大会には、益田出身、浜田出身、江津出身という近辺の出身のプロレスラーが何人もおられた。

- ④ 6月1日(土) 橋本弘安展「本当の色」～岩絵具の探求細かい砂からナノ粒子まで～ギャラリートーク&ワークショップ(世界こども美術館)

橋本弘安先生が久しぶりに浜田に来られて、6月1日から7月7日まで展覧会が行われている。橋本先生は顔料の研究者でもあり、そういったことでギャラリートークとワークショップをされている。7月6日と7日には、展覧会の最終日とその前日の2日間ということで、先生はこちらに来られることになっていて、ギャラリートークとワークショップを2回ずつされるという予定になっている。

橋本先生は今年の3月で女子美術大学の教授を退官され、副

学長も5月には退任されたため、少し時間的な余裕が取れるようになり、浜田にも足を運ばれたということである。また、7月6日と7日に浜田に来られるため、時間があれば皆さんも世界こども美術館にお出掛けいただければと思う。

⑤ 6月5日(水) 浜田地区教科用図書採択協議会調査員会議(浜田公民館)

今回は来年度以降使用する小学校教科書の選定をしていただいた。11教科13種目の教科書を選んでいただき、1種目当たり3名、全員で39名の先生方に調査員のお願いをしている。6月5日から約1か月間かけて全ての教科書を読み込んで、どの教科書が1番浜田地域の子どもに適当であるかを調査していただくということで会議を行った。

⑥ 6月5日(水) 令和元年度浜田高等学校定時制・通信制支援協議会総会(浜田高校)

県西部の9つの市町から115万円ほど負担金を出していて、その負担金を中心に教育活動の支援をしている。学習支援については、英語検定、漢字検定、様々なビジネス関係の検定等、将来社会に出て役立つということで、高校時代にそういった検定が受けることができ、その受験料を補助するといったような学習支援がある。

キャリア教育の支援では、2年生の時に東京での研修があるが、参加される生徒にはいくらか旅費の支援がある。そういった支援を市町村の負担金をもとに行っている。今まであまり説明をしていなかったが、平成25年度から継続して支援している。

⑦ 6月6日(木) 浜田市立学校統合計画審議会答申説明会(雲雀丘小学校)

教育委員方にも出席していただき、浜田市立学校統合計画審議会答申説明会を雲雀丘小学校で開催した。

⑧ 6月7日(金) 令和元年度浜田地区租税教育推進協議会総会(浜田合庁)

この協議会の代表幹事を私がさせてもらっており、浜田税務署管内の小中高で租税教室を開催していただく様、お願いをしている。それから、税に関する絵はがきコンクール、作文コンクール等そういったものも協議会が主体となって行っている。租税教室については、税のしくみや役割、納税義務に関するこ

と等を授業の中で話していただいている。子どものころから税に関心を持ってもらうというのが取組の目的である。租税教室は浜田管内の小学校で約85%の実施、中学校は100%の実施である。

- ⑨ 6月8日(土) 令和元年度部落解放同盟島根県連合会石央支部総会(市福祉センター)

6月16日(日) 令和元年度全日本同和会島根県連合会浜田支部総会(周布公民館)

6月に入って2つの大きな団体の総会に参加をした。総会に必ず研修がついていて、今回も両組織の総会では外部から講師が来られて、研修が行われた。

- ⑩ 6月19日(水) 市議会6月定例会議・提案説明、全員協議会

6月20日(木) 市議会6月定例会議・個人一般質問(1日目)

6月21日(金) 市議会6月定例会議・個人一般質問(2日目)

6月24日(月) 市議会6月定例会議・個人一般質問(3日目)

6月25日(火) 市議会6月定例会議・個人一般質問(4日目)

6月26日(水) 市議会6月定例会議・議案質疑

6月27日(木) 市議会6月定例会議・総務文教委員会(全員協議会室)

6月19日から6月の定例会議が始まった。19日に提案説明、全員協議会が行われ、20日、21日、24日、25日で一般質問が行われた。それから、26日は議案質疑、27日は総務文教委員会が開催をされている。

- ⑪ 6月22日(土) 令和元年度佐々田懋・服部之總顕彰会総会(石中央文化ホール)

2名とも、藤本委員と同じ旭町木田出身である。そういった顕彰会総会が開催された。

- ⑫ 6月23日(日) 令和元年度浜田市PTA連合会研修大会(県立大学講堂)

委員方にも参加をいただき、大橋先生の講演を聞いていただいた。先生の話の中で、自己肯定感についての話があった。自己肯定感を高めるような取組や周りからの声掛けが大切であると言われていたが、改めて話を聞いて、そのとおりで感じたところである。講演の中では、先生の両親が「できないことをばかにしない」、「他の人と比べない」といった話をされており、心に残った。梅津前委員長が「人は人によって人になる」

とずっと言っておられたが、それにつながるのかなと思った。「心の傷は人でなければ癒せない」といったような話もされていた。

⑬ 6月26日(水) はまだっ子共育プロジェクト研修会(中央図書館)

私は議会の関係で参加ができなかったが、文部科学省国立教育政策研究所の志々田まなみ先生に来ていただき、学校の先生方が多く参加をされたと聞いている。志々田先生は2年前にも浜田に来ていただき、共育の関係の研修をしていただいている。中央で活躍をされている先生で、広島出身の方である。今は東京で仕事をされている。今回はお会いできず残念であったが、また機会があれば研修に参加をしたいと思っている。

⑭ 6月28日(金) 令和元年度浜田市県立高等学校支援連絡協議会総会(2階会議室)

高校の魅力化を支援する組織で、浜田市内の県立高校3校、行政、公民館等の関係の方々が集まり、支援する事業について決定をしたところである。今後、この協議会を改組して高校の魅力化のコンソーシアムというものを立上げるのだが、その中には、地元企業であったり、保護者方であったり、地域の方々であったり、色々な方々に加わっていただいて、高校を支える。本当は支えるというよりも、高校と地域が一緒になって教育のことを考える体制づくりを作るという様な会議を2時間ばかり行った。

1か月間の報告は以上である。

今のところで、質問等はあるか。

質疑応答

藤本委員

2つほどお聞きしたいことがある。まず1つ目が、6月23日の浜田市PTA連合会研修大会と一緒に参加をさせていただいたが、出席者の方々を見てびっくりしたが、あまりにもと思った。皆さんはどのように思われただろうか。私たちも今まで経験したことはあるが、1番苦労することが人を集めることである。いかにして参加をしていただくかというのが、やはり知恵の絞りどころだと思う。いくら内容が良くても、参加者が少なければ内容として充実したことにはならない。これは教育委員会には直接関係がないが、皆さんの中にはPTAに関係しておられる方がいれば、参加

者をもう少し呼び込むような方向性を考えるべきであると思った。

2 つ目は高校の魅力化についてであるが、今回の議会でも一般質問で熱心に質問をされているのを見ていたが、私は多少違和感を持ちながら聞いていたが、県立学校のあり方について私たち教育委員は、あまり介入して口出しした覚えはないし、またその資格もないと思っている。地域と学校が協働するというスタイルが1 番良いのかもしれないが、それは美しすぎる話であって、やはり県立学校は県が主体にどのように考えられるかというものが無ければ、地域に色々ざわつかれても中々結果は出てこないのではないかと思う。

学校名は出さないが、県内でも部活動を通じて生徒数がぐっと増えたという学校はある。これは特に地域が何かしたという訳ではなく、たまたまその学校にある部活動に子どもたちが共感し、そこに県内各地から集まって、生徒数が急激に増えているといった結果がある。地域と共にというのは、言葉では美しいが、中々結果は出ないのではないかと思った。教育長も立場的に苦勞されていると思いながら、私が思ったことを申し上げた。

村木課長

浜田市 PTA 連合会の関係は、後ほど報告をさせていただくが、公式発表では役員も含めて 330 人の参加があった。

宇津委員

金本委員とも話したが、スタッフが多過ぎる気がした。確かに大勢でお世話していただくのは結構だが、スタッフが会場に来ればずいぶんと違うだろうなという気がした。

石本教育長

確かにお世話をされるスタッフも始まったら会場に来てもらう方がよい。PTA 研修会で私が思ったのは、親御さんの参加が少ないのは昔に比べたら PTA の数も減っていて、研修会に出られる方も少ないが、PTA なので学校の先生方にも出てきてほしいという思いがある。校長や教頭先生、管理職の先生は多数おられたが、先生方は日頃が大変であり土日はゆっくりしたいという気持ちも分かるが、もう少し参加をしていただいで一緒に勉強していただければ嬉しかったと思う。またその辺りは校長会で伝えたいと思う。

高校の魅力化についての会議を今日の午前中に行ったが、その中で浜田高等学校の校長先生が「地域の子は地域で育てないといけない。それが教育の魅力化のテーマである」ということをはっきり言われた。それは小学校、中学校までで良いという話ではな

く、やはり地元にある高校の生徒、確かに市外から来ている生徒もいるが、そこまでを含めた地元の子を地元で育てるという取組を進めていくことが高校の魅力化であるといった話をされた。県か市の垣根を取ってやらないといけないと思う。これも県の政策で進めて方向を作っておられるため、それに乗っかって進めていきたいところである。中々、委員方に説明する機会がなかったが、実は去年、協議会を立ち上げて、それぞれの高校で活動をして、協議会としての活動はほとんど無きに等しかったが、今年度からは魅力化のコーディネーターを配置し、非常に各校を飛び回って活躍をしている。その辺りを含めて、また機会を設けて説明する。

藤本委員

高校の魅力化についてだが、先般、議会でも話が出ていたが、議会で話されていた高校の魅力化というのは特色ある子どもを育てるというのではなく、生徒数を確保するというのが第一の命題だと感じた。特色ある子どもを育てるというのは目で見えるものではない。目で見えるものというのは、数字で出てこないとまずいのではないか。そのためには生徒数が増えるということが第一の思いであると感じた。浜田高等学校の校長先生がおっしゃったことがおかしいと言う訳ではないが、今世間でいわれている魅力化というのは、いかにして生徒を集めるかということが狙いであるのではないかと思う。皆さんがどの様にお考えかは分からないが、議会の中で言われていた高校の魅力化はそういう意味合いだと思って聞いていた。

石本教育長

協議会の活動の柱が3つあって、1つは生徒募集に関するものであり、確かに数字で出てくる場所である。しかし、あくまでも3つの柱のうちの1つである。また、説明をさせていただきたいと思う。

金本委員

橋本弘安展であるが、世界こども美術館に昨日と今日とミュージアムスクールに帯同した。橋本弘安先生の絵は各校にあるため、子どもたちも親しみを持って見ていた。また、実際に石を削って、子どもたちが自分で色を塗って、完成したものが美術館に展示されるということで、非常に身近に感じた。

石本教育長

ミュージアムスクールの授業の中では石を削って、紙に色を塗って、それを張り合わせてという様なものか。

金本委員

そうである。橋本弘安先生の作品だけではなくて、橋本明治先生の作品も多数あったが、児童たちは2年生ということもあり、やはり日本画に馴染みがなくて浜田市出身の偉大な先生という感

覚が分からないようであり、鑑賞や説明を聞くのも中々退屈な時間であったかもしれないが、身近なものとして郷土の偉大な作品に触れ、有意義な時間を過ごさせてもらって午後は制作をさせていただいた。

石本教育長

ありがとうございました。4年生になると「ふるさと50人」という本をもらい、その中に橋本明治先生が出てくる。ミュージアムスクールは3年生くらいが良いのかもしれない。

各委員

その他はよろしいか。

特になし。

2 議題

(1) 令和元年度全国学力・学習状況調査結果の公表について（資料1）

石本教育長

毎年、同じことを教育委員会の中でお諮りし、今年度も同じ様に提案をし、委員方からご意見をいただきたいと思っている。

牛尾室長

教育長からもあった様に、例年、確認をさせていただいている。浜田市教育委員会は下記の理由から個々の学校名を明らかにした調査結果の公表は行わない。また、学校に対して学校名を明らかにした公表もしない。

まず、調査目的から、測定できるのは学力の一部であるということや学校における教育活動の一側面であり、教育施策の改善、教育指導の改善という目的に照らして公表の必要性を感じない。

次に、公表後の影響から序列化を招いたり、過度な競争につながったりする可能性がある。

最後に、児童生徒の個人情報保護や学校・地域の実態から、小規模校では児童・生徒数が少ないことから集団を表すデータとしての信頼性が薄く、個人が特定されるおそれがあることから公表はしない。

石本教育長
藤本委員

今年度も以上の様な理由から公表はしないと考えている。

ただ今説明があった。この件について委員方から意見等あるか。事前に資料を送っていただき、目を通して自分なりに考えたが、ここに記述のあるとおり公表すべきではないと思う。

各委員

他の委員方はどうか。

石本教育長

特になし。

それでは委員方全員が例年どおり、公表については行わないという事務局からの提案どおりという意見であった。例年どおり、公表しないということによろしいか。

各委員
石本教育長
全会一致で承認
それでは、今年度も今までとおり、資料にある 3 つの理由を下に調査結果について、公表は行わないということで決定をしたいと思う。よろしく願います。この件は、校長会でも報告をよろしく願います。

(2) 公民館職員（主事）の選任について（資料 2）

村木課長
4 月以降、空席であった雲城公民館の主事に次の者を選任したため、社会教育法第 28 条の規定により、教育委員会の任命を求めるものである。

この度、任用する予定の者が吉永正美さんである。吉永さんは、平成 25 年以降、主に市役所の関係で臨時職員の経験がある。高校総体の時も臨時職員ということで成功に導いていただいた。その後、青少年サポートセンターやいわみ福祉会等の臨時職員をされておられ、この度、雲城公民館職員に応募され採用ということになった。任期としては令和元年 7 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までである。以上、よろしく願います。

石本教育長
村木課長
今まで公民館での勤務の経験はないのか。

ない。

臨時職員としての事務を長くされている。

宇津委員
住所が熱田町であるが、雲城公民館で勤務されることについて、地縁などはないのか。

村木課長
地縁はないと思われる。職業安定所を通しての募集である。

藤本委員
性別は。

村木課長
女性の方である。

石本教育長
今、事務局からの説明を聞いて初めて分かったが、高校総体の時に事務局におられた吉永さんは私もよく知っている方である。とても元気のある方である。

藤本委員
金城自治区には公民館が 6 つあるが、連絡調整をされる方はおられるか。

原田分室長
雲城公民館に連携主事が 1 名おられ、各公民館との連携をとっている。

雲城公民館には 3 名おられるのか。

原田分室長
現在は 2 名であるが、この 1 名が加わって 3 名になる。

藤本委員
この度、任用される方は連携主事としての任用ではなく、雲城公民館の主事であるか。

原田分室長	そうである。
藤本委員	承知した。
石本教育長	その他はよろしいか。
各委員	特になし。
石本教育長	それでは提案のとおり、吉永正美さんを公民館主事に選任する ということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(3) 浜田市社会教育委員の委嘱について (資料 3)

村木課長	この度、社会教育委員の異動があったため、浜田市社会教育委員 条例第 3 条の規定により、教育委員会の承認を求めるものであ る。 この度、3 名の異動があった。まず、校長会選出の佐堂校長か ら、この度、波佐小学校の加藤校長が選任された。また、浜田市 PTA 連合会の会長であった佐々木さんから、この度、副会長の三 隅中学校の会長である分石由紀江さんが選任された。更に、浜田 市文化協会会長から山崎晃さんから、この度、新会長の田中耕太 郎さんが選任された。以上の 3 名の方が変わる事となった。な お、任期については在任期間となるため、令和 2 年 3 月 31 日ま でとなっている。なお、委員一覧ということで 13 名の選出区分、 氏名、所属団体を示している。以上である。
石本教育長	3 名の社会教育委員の方が選出母体の役員の関係で交代をされ るということである。社会教育委員は任期が 2 年であるため、残 任期間ということで令和 2 年 3 月 31 日までとなっている。 質問等ある方はお願いします。
各委員	特になし。
石本教育長	3 名の方を社会教育委員として委嘱することについて承認して いただけるということによろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

(4) 浜田市立図書館協議会委員の委嘱について (資料 4)

村木課長	この度、浜田市 PTA 連合会の関係で、浜田市立図書館協議会条 例第 4 条の規定に基づき、教育委員会の承認を求めるものであ る。旧委員である平野陽子さんから齋藤有香さんに代わるもので
------	--

	ある。この方は松原小学校に所属する役員の方である。
	任期としては、先ほどと同じ様に残任期間ということで、令和2年3月31日までの委嘱となっている。資料に10名の委員一覧を載せているため、ご確認いただければと思う。以上である。
石本教育長	この件についても選出母体の役員の変更ということで、平野委員から齋藤委員に交代するといったものである。
	これについて質問等あるか。
各委員	特になし。
石本教育長	特段ない様である。それでは浜田市立図書館協議会委員について新たに齋藤委員に委嘱をするということでのよろしいか。
各委員	全会一致で承認
石本教育長	ありがとうございました。

3 部長・課長等報告事項

河上部長	<p>令和元年度 一般会計補正予算（第2号）説明資料（資料5）</p> <p>資料5をご覧いただき、6月議会に提案をしている補正予算である。3番目に主な補正事項として、畜産の関係や、山陰浜田港等が載っているが、資料3ページが教育関係である。</p> <p>学校支援員配置事業については、第二中学校へスクールサポートスタッフを1人配置するという事で補正をしている。</p> <p>公民館管理運営費は県道改良事業に伴う石見公民館佐野分館付帯工作物の撤去工事で補正が挙げられている。</p> <p>文化振興事業については、宝くじ助成事業による展覧会への助成である。宝くじの助成事業が認められたため、この度補正を行う。</p> <p>（仮称）浜田城資料館整備事業については、議会で審議いただく前に既に新聞に出たが、既に工事を始めていて10月の開館に向けて御便殿の改修をしているが、建築基準法上の用途の規定のところで、昨年度設計委託をして設計業者が工事の積算をして、発注したが、いざ県に確認申請を出したところ、これは展示施設であり用途が違いと指摘があり、メインはスプリンクラー設置や内装の不燃材化をとの指示があり、その費用が2千万円かかるということでの追加補正である。</p> <p>今年度については、9,300万円の補正額だが、平成29年度の予算と合わせたら1億円を超えるため、中には1億円を超えないように後出しにしたのではないかと言われた人もいたが、教</p>
------	---

育委員会があくまでも御便殿を浜田城の資料館としての工事をするというので設計を委託して、その設計に基づいて工事発注の予算化をして今進んでいるが、設計士の方の確認漏れというか、設計士とすれば少しでも安くと思われたかもしれないが、結果的には県への確認不足により、追加補正という形になった。少し新聞の書き方にも批判的なイメージであったが、これはしなければならない工事であるため、10月の開館に向けてスケジュールの変更がないようにということで、調整をしている。実際には予算が認められた後の契約となるため、非常に厳しいスケジュールとなるが、開館には間に合う様に進めている。

令和元年6月市議会定例会議 個人一般質問一覧（資料6）

今回は21人から質問があり、その内の16人に対して教育委員会が答弁をした。毎回のとおり、多くの議員方から質問をいただいている。今回は自治区制度の関係で公民館のコミュニティセンター化ということで多くの質問があった。

また、最近子どもたちが、車に跳ねられ事故にあうということが多いため、事故防止のための通学路の安全確認についての質問、教育の魅力化、学力についての質問、また、検討している歴史資料館についても質問があった。また、学校統合計画審議会の答申を受けて、今説明会を行っているが、そういった質問もあった。

今回はいじめに関する質問はなかったが、いつもながら多くの質問をいただいている。答弁をご覧いただいていると思うが、すぐにできる部分もあれば検討するという回答をさせていただいた部分もある。指摘の意見もあれば、応援の意見もあった。それぞれ、各担当課の方で取り掛かることができるものについては早急にと思っている。

湯浅課長

行事等予定表（資料7）

今回、掲載している行事等予定表は6月28日から7月31日までの予定である。来週からであるが、委員方には学校訪問や学校統合計画審議会答申保護者説明会、地域説明会にご出席いただくこととなっている。よろしく願います。

他の行事等については、予定表を見ていただければと思う。

牛尾室長	今の資料7で訂正させていただきたい。7月24日の調べる学習応援講座であるが、備考のところに長田徹氏とあるが消していただきたい。この方は1番下のキャリア・パスポート研修会で来られるが、24日は来られない。
石本教育長	文部科学省の方である。 今、訂正があったように7月24日の調べる学習応援講座の備考欄にある長田先生は消していただくように。
牛尾室長	そして、7月25日に松久氏とあるが、これは教育講演会の講師の方であるため、ここも違う。
石本教育長	では、松久氏も資料から消していただくように。
市原課長	<p>夏季休業中の学校閉庁日について（資料8）</p> <p>昨年から、三市三町共通の取組として教職員の健康増進、休暇促進、多忙感解消を図る目的で実施している。</p> <p>今年度については、8月11日から8月16日までの6日間を学校閉庁期間として設定することとしている。</p> <p>項目3のところに、学校閉庁日の連絡先については学校教育課及び子育て支援課ということで、何かあれば窓口対応を行う。閉庁日の期間には学校に勤務者を置かないということで、教職員の方にはしっかり休んでいただくということにしており、部活動についても原則行わないということにしている。</p> <p>昨年同様、保護者への文書周知や広報、ホームページ、学校だより等で周知を行っている。</p>
牛尾室長	<p>浜田開府400年記念事業 小・中学校作文コンテスト「夢・未来」（資料9）</p> <p>開府400年に伴って、さまざまなイベントがあるが、小中学生にも何らかの形で参加してほしいという実行委員会から依頼があり、ここにあるように大きな節目に自分を見つめて、これからの自分や浜田、地域の未来について考えてみましょうという趣旨で作文コンテストの依頼を校長会で行なった。</p> <p>テーマは小学校の部が4年生から6年生対象で「私の夢」、自分に関する夢であったり、浜田や地域に関する夢であったり、「私の夢」についてである。中学校の部は、少し高く求めて「未来の浜田と私」である。</p> <p>募集期間は7月5日から9月2日までであり、夏休みの課題</p>

としてもらっても良いが、極力多くの児童生徒に作文を書いて参加をしてほしいと思っているため、授業で取り扱っても良いし、宿題で書くということも良いということで募集を求めた。

次の2ページをご覧いただき、応募方法であるが、児童生徒が書いた全ての作文を、学校の中で数点選んで提出していただく。

最優秀賞は、小学校と中学校からそれぞれ1名ずつであるが、入賞者には、賞状と副賞が贈られ、参加者には全員に缶バッジが参加賞として贈られると伝えている。

10月13日の記念式典において、最優秀賞の小学生、中学生の作品発表を行う計画をしている。

第3回(6月)市校長会資料レジュメ(資料10)

6月の校長会で情報提供やお願いをした内容である。全部はお伝えできないため、部分的にお伝えする。

まず1つ目に、学校経営の視点になればということで2つ情報提供をした。5月の校長会で家庭環境が中々難しい不利な子どもたちが、不利を克服するのはどんな子どもなんだろうかということで、非認知スキルが高い子どもたちが不利を克服している状況があり、親が子どもたちに接する言葉掛けや接し方が非認知スキルを高めるという話をしたが、これに関係して、まず1つ目の情報提供が、卓球の平野美宇選手の母親の平野真理子氏の言葉で「小さな意思決定の積み重ねが、進むべき道を決めるんだ」というものがあつたため、紹介をした。要点を言うと、小さな頃から小さな自己決定をさせていき、最終決定は子どもに委ねる。本や絵本を選ばせる時でも、例えば2冊の内この内のどっちを読むということ子どもに決めさせて、小さな自己決定の積み重ねが、いずれ来る大きな選択に迫られたときに力を発揮するという話である。

次に、2ページに中高一貫校の校長や大学教授をされている長野雅弘氏の言葉であるが「自立と自律が、健全な精神の発達に、そして、学力伸長に」とあり、教育の目的は自立と自律だということを言われている。長野先生が、生徒にいくつもの選択肢を与えてその中から生徒自身が決断するというのである。これはまさしく先ほどと一緒だと思った。これが、非認知スキルを向上させると言われ、私も共感し、紹介をさせていた

だいた。

次に、資料1番下の欄を見ていただき、学力が上がることで、いじめが減るというデータが示された。理由は、今の学力が「想像力」や「考える力」を付けることを意味するからである。つまり、相手の痛みを想像したり、考えたりするようになるのである。学力の捉え方も広まっており、考える力、相手の痛みも想像できる力も育てていかないといけない。

また、学力の向上ということで、次の3ページの上に3点固定「寝る時間・起きる時間・勉強開始時間」を徹底して確立していくことが大事だということで、60日間継続すると習慣化するとあり、やはり、特効薬はなく、原則的なことをきちんとやっていくことでしか、学力がつかないと思った。

項目2をご覧いただき、伸びる学校の条件について、2つ目のひし形のところで、(1)家庭学習の指導をきめ細やかに行っている。(2)言語活動の重視ということで、教科を問わず、「話す・聞く・書く」こと、特にあらゆる場面で書かせることが、非常に大事であり、それを徹底している学校は効果を上げているということを紹介した。

4ページの項目3をご覧いただき、「子どもたちに育てたい資質・能力」について、今各学校は来年度の小学校新学習指導要領の完全実施に向かって、子どもたちにどんな資質能力を育てるのかということ話し合っていて明確にしているところである。それに伴い、3つ目のひし形のところに生涯学習課では、はまだっ子共育推進事業を行っており、その会議に私も出席をした。その会議の中で、公民館のコーディネーターであったり、放課後児童クラブの指導員であったり、そういった運営委員会委員の方々が話をされて、はまだっ子共育で浜田の子どもたちにどんな力をつけたいかということで意見交換をし、そこで非認知能力等色々出てきたが、私としては、学校と地域の目指す力、資質能力の方向が違ってはまずいため、同じ文言にはならないまでも同じ方向でありたい。そのため、まず、学校は学校で育てたい力を明確にして、そしてこういった会議で話し合い、すり合わせをしていくのが、教育委員会の仕事と思っており、私が両方に伝えていくと話したところである。

項目4をご覧いただき、キャリア・パスポート活用・研究の情報提供ということで、来年度から小中学校全て始まるが、決

して新しいことへの取組ではなく、今までやっていることであるとお伝えした。その例として、①生活科の自分自身の成長の単元であったり、②総合的な学習の時間の取組であったり、③4年生二分の一成人式で今までの自分の10年間の振り返りをすることであったり、④学級文集づくりについて、1年間の終わりに作る担任が多いが、そこで1年間を振り返る。ただ、これが1年止まりになっていて、次の学年につながってなかったという反省を含めて、キャリア・パスポートの実践がなされている。今、色々な振り返りや積み重ねがあるため、それを丁寧に行い、来年度からは次の学年にどうやって自信と学びをつなげていくのかを見据えていきましょうと話をした。

最後に項目5をご覧いただき、今年度も学力向上総合対策事業を進めているが、いくつかの日程や講師が決まったため、ここに一覧表を載せている。先ほどの日程であったスーパーティーチャーの示範授業も決まった。今年度、10月18日と19日に協調学習で全国大会を引き受けるが、その実施要綱もほぼ決まり、資料に載せているため、ご覧いただければと思う。

村木課長

平成30年度島根県公民館連絡協議会活動報告について（浜田市抜粋）（資料11）

資料は、浜田市のみを抜粋したものである。大きく2つの事業があり、地域課題解決型公民館支援事業に4つの公民館がエントリーし採択され、内容は2月の三隅で行われた県大会で発表したものである。

次のページに、「がんばってます」という公民館活動を載せている。資料の23ページと24ページに「声に出そう！読んでみよう！絵本やお話」というテーマで石見公民館が取組んだ内容である。特に24ページの4番の評価と成果をご覧いただき、ボランティアへの参加で最初は難しかったけど徐々にできてきたとか、今となっては平日の午前中に、中央図書館で子ども本コーナーで親子に読み聞かせをしているボランティアも増えたということが載っている。また講座では、呼吸法、柔軟体操、記憶ゲーム等、病気対策や健康増進も含めた取組をしたところである。

また資料11に戻っていただき、この度の活動が島根県でも取り上げられ、島根県議会文教厚生委員会が「高齢者の生きが

い」をテーマで現在8月28日か29日に視察に来られると聞いている。まさに、公民館活動が福祉や防災等、色々な場面で関わっていくところだという証であると大変嬉しく思っている。それ以外にも、美又、井野、白砂公民館の活動も掲載しているため、ご覧いただければと思う。

また、第四中学校区と弥栄中学校区で実施していた、公民館ふるさと教育推進事業について昨年度が最終年度であった。これについて、92、93ページをご覧いただき、美川再生プロジェクトとあり、第四中学校区での取組である。これについて、項目4にふるさとの魅力や価値に気づき理解を深める学びの場を設定とあるが、企画・打ち合わせ、土手の草刈等色々な活動がある。そこには、幼稚園・小学校・中学校・地域・青年団との色々な方との関わりがあって、成果と課題の1番上にあるが、コーヒー缶等のポイ捨てが減ったとある。多くの方が今までは、桜並木がある等を意識せず、容易に捨てられたと思うが、皆さんで手を掛けて関わるとそういったことが減ってきたというのも1つの効果であると思っている。93ページの1番下の今後の展望の項目の2番目に、美川地域で生活する住民同士の絆の強化と、災害時における避難など、お互いが助け合い、まさに色々な方とのふれあいや活動を通して、最終的には桜並木のプロジェクトかもしれないが、やはりそこには環境問題や防災等色々な面に関わった取組をしたというような評価を受けている。こういったところが、公民館の機能であると感じている。

令和元年度 浜田市 PTA 連合会研修大会について (資料 12)

先ほどの話があったが、浜田市 PTA 連合会研修大会の結果報告である。お忙しい中ご出席いただきありがとうございました。表彰式、講演会ということで出席者数が 330 名であり、先ほどのご意見については、原井小学校が事務局であるため、原井小学校にもお伝えをしたいと思っている。

外浦課長

(仮称) 浜田歴史資料館検討会の検討状況について (資料 13)

4 月から開催し、現在第 3 回まで進んでおり、前回の定例会の際に第 2 回までのところを報告させていただいた。

第 2 回の時に、平成 28 年度整備計画に対する意見を踏まえ

た見直し案を提出し、たたき台として3つの案を提案したところである。それに対しての主な意見として、委員からの意見を載せている。

第3回は、6月18日に開催している。第3回目では、たたき台の3案の現地視察をしていただいた。その後、感想も含めて意見交換をしたところである。3案については、2ページ目に視察行程を載せているが、途中、現在の浜田郷土資料館にも寄って、視察・確認していただいた。

委員の皆様方からの意見としては、「大切な資料を保存していく、大切な建物である」「実際に現地をみて、やはり郷土資料館の老朽化の状況がよく分かった」「3つの案についてそれぞれのメリット、デメリットがよく分かった」「資料館の展示内容についてもう少し具体的な説明がほしい」「他の優先事業があるのではないか。現行案では説明力に欠ける」等の意見や、資料の14ページに入館者見込みについて載せているが、「利用者の見込みは確かなものか。疑問である」といった意見もあった。資料の13ページに整備費、運営費の財源と実質負担についても今回はしっかりと説明した。実質の負担としては、整備費について約4億から5億であり、運営費については、1,100万から5,000万円程度であるという説明をさせていただいた。

その他の既存施設利用については、前回、委員から他の施設ももう少し検討するべきではとの意見があったが、今回、5つの他の既存施設について検討したが、いずれも歴史資料館としては利用困難である。

また、現地をみた意見として、「やはりA案が良いと感じた。C案にすれば、こども美術館の展示がわずかとなり寂しい」という意見があった。さらには、「美術館の複合化の場合は施設の名称はどのようになるのか」といった様な意見もあった。さらに議論を深めるために、会長からの提案で各委員が意見を整理する際に利用していただくということで、資料の16、17ページに載せているが、委員にアンケート用紙を配布した。自分の意見を整理するにあたって活用していただき、また次回はそれを利用しながら検討を行うこととした。

今後のスケジュールとしては、7月22日に第4回検討会を予定している。さらに、会議の進み具合や委員の意見の状況により、会長の判断で、その後の会議を検討する。

佐々尾分室長

浜田市旭支所 1階平面図（旭図書館・今市公民館）（資料14）

来年度のことではあるが、旭図書館、今市公民館の移転についてお知らせする。旭図書館と今市公民館は、ともに手狭なことから以前より移転先の検討を行なっていたが、この度、庁舎の改修工事を行い、庁舎1階に移転することになった。

場所については、資料14に載せている。水色の部分が図書館で黄色の部分が今市公民館である。検討の結果、利用者の利便性を考慮して、赤い三角印が付いているところが庁舎の中央玄関を示しており、ここを入り正面の位置に2つの施設を隣接する形で配置をしたいと考えている。

現在、旭図書館は面積が80㎡であるが、面積が300㎡となり、ゆったりとした館内で読書学習コーナーや書架等の設備の充実を図る。

今市公民館の床面積は、現在30㎡であるが、90㎡になるため、設備面での変更点はないが、ちょっとした協議等のスペースを確保することが可能となった。

移転に向けた今後の流れであるが、庁舎の改修工事は早くて来年の7月末となる予定である。庁舎での新たな開館、移転作業中の休館期間、利用者への通知方法については、また改めて報告する。

石本教育長

ありがとうございました。以上、資料に基づいて報告をいただいたが、その他資料のないところで各課長から報告事項はあるか。

各課長

特になし。

石本教育長

資料5から資料14までの説明があった。委員方から質問意見等があればお願いしたい。

質疑応答

藤本委員

私からは報告と質問になるが、まず報告として資料7の行事等予定表の中に、私たち教育委員が学校訪問をする日が載っている。この学校訪問というのは、現場を知らなければ何も分からないということで、浜田市では1年に1回は全ての学校に行くことになっており、現在まで続いている。この学校訪問は教育長を始め教育委員も当たり前のことだと思っているが、島根県内の市町村で色々聞いてみると、学校訪問を行っていないところが多

い。私は色々と調べて聞いてみてびっくりした。私たちが学校訪問することを期待されている校長先生も何人かおられる。何が言いたいかという、私たちは当たり前と思っているが、当たり前と思っていることが行われていない市町村が多いということをご皆さんに知っていただきたいと思い報告した。

続いて、質問であるが、資料 10 の校長会資料について報告していただいたが、この中の 6 ページに協調学習のことであるが、協調学習指定校について金城中学校と旭中学校のことが具体的に掲載されているが、これとは別に授業研究会・教科別等研修会が 10 月にあると書かれているが、このことについては、また、ご案内をいただけるのか。

牛尾室長

この中の資料で資料 F を見ていただき、これは研修会開催の一次案内である。これを市内の小中学校に 7 月の初めに配布をする。そして 8 月の中旬に東大に協議会が集まって、そこで全国に案内をして参加を求めるという形にしている。実施要綱を配布する。

石本教育長

委員方には案内がいくのか。

牛尾室長

是非、来ていただきたいため、案内を送る。

石本教育長

旭図書館と公民館についてだが、図書館のスペースとなるところは今、公用車の駐車場となっているところか。

佐々尾分室長

そうである。

石本教育長

300 m²もあれば確かに広い。

佐々尾分室長

裏に今物置があるが、それも撤去する。

藤本委員

私はこの図面を見れば分かるが、ほとんどの方が分かりにくいのではと感じる。公民館のところは暗くならないか。

佐々尾分室長

照明を LED にして明るくする。

藤本委員

照明を付ければ明るくなるが。自然光は入らないと思う。

佐々尾分室長

自然光は入らない。

藤本委員

公民館としてそれで良いのかと思う。

佐々尾分室長

公民館を 3 階に作るという話もあったが、結局この場所になった。

藤本委員

既に色々と検討された結果であると思うため、私には案があったが言わない方がいいかと思う。しかし、公民館に窓が全くないのはどうかと思う。

石本教育長

外からの光は、図面の 1 番下の部分から入らないか。ここは窓ではないか。

佐々尾分室長

ここは自動ドアである。

藤本委員	上の方に小さな窓があるかもしれない。この図面でいうと突き当たりになる。だが、明るさを求められるほどの窓ではない。
石本教育長	今のところは間借りであるのか。
佐々尾分室長	そうである。
石本教育長	既に、方向性は決まっているため、変更は難しいとは思いますが、また利用する時には考えたい。
宇津委員	資料 11 について、島根県議会文教厚生委員会が石見公民館を視察をされるということであるが、大変ありがたい話である。資料には 4 館挙がっているが、視察は石見公民館だけであるのか。
村木課長	石見公民館だけを視察される。既に島根県の社会教育課長も来られて、公民館主事と打ち合わせを行ったが、私も同席した。
石本教育長	2、3 年前に溝口前知事も石見公民館に来られて、公民館活動について意見交換をされた。
金本委員	以前、石見公民館で講座をされている方に三隅にも来てくださいとお願ひしたことがあるが、中々機会がない。
石本教育長	資料 9 の開府 400 年記念事業小・中学校作文コンテストであるが、学校の負担感になってもいけないが、多くの応募してもらいたいと思っているため、学校の先生方からプッシュをしてもらい様をお願いしてほしい。
牛尾室長	もう、取り組んでもらっていると思うが、改めて 7 月の校長会でお願いする。
金本委員	中々、夏休みの宿題でも読書感想文みたいなものは最後に残ることが多い。
牛尾室長	全て、夏休みの宿題にすると、多く応募してもらえないかもしれないため、それまでに取り組んでいただきたい。
石本教育長	弁論大会は、テーマが自由であるが、その中で取り扱ってもらえないだろうか。
金本委員	弁論大会は、既に校内予選が始まっているのではないか。
宇津委員	弁論大会は 9 月 11 日ということで依頼が来ている。
石本教育長	宇津委員には、また審査員をお願いすることになると思う。よろしく願ひする。
石本教育長	作文コンテストの依頼は 6 月にしているため、それを受けて話をした学校もあるかもしれない。
宇津委員	副賞をもう少し豪華にするべきだと思う。
藤本委員	資料 11 に美又公民館の取組で、妖怪を活用した様な事が書かれているが、これに関わっているのが水木しげるプロダクション

石本教育長 藤本委員	<p>で 18 年くらいアシスタントをされて、アシスタントのトップであるチーフアシスタントをされていた方である。</p> <p>伝説というのは各地域にあるが、それを絵にして取り入れて、美又公民館では取り組んでいる。</p> <p>以前に、石見公民館で何年間か展覧会をされていた。</p> <p>実は、私の同級生であり、最近では邑南町からかるたの絵の依頼が来ているそうである。彼の絵というのは妖怪風である。おじさんが登場すれば足がガニ股になっている。そういうスマートではない絵が好ましいということで、紙芝居やかるたになっている。</p>
村木課長	<p>佐々岡さんである。あと、下村さんという方や郷土の歴史家の方や温泉組合も関わっている。</p>
藤本委員	<p>広島のとある公民館から講演の依頼が来たということで相談を受けたことがあるが、広島から送迎付きでの講演依頼であったためすごいなと思った。</p>

4 その他

(1) その他

石本教育長 各課長	<p>事務局からその他何かあるか。</p> <p>特になし。</p>
石本教育長 各委員	<p>委員方からご報告やご質問があればお願いします。</p> <p>特になし。</p>

次回定例会日程

定例会 7月31日(水) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

次々回定例会日程

定例会 8月23日(金) 13時30分から 北分庁舎2階会議室

15:05 終了